

普及活動現地情報

「農業現場では、今」

平成 29 年 12 月号



【海草振興局】12/29 女性農業者交流会を開催！！

和歌山県農林水産部経営支援課
(農業革新支援センター)

は じ め に

普及活動現地情報は、普及指導員等が行う農業の技術普及、担い手育成、調査研究、地域づくり等の多岐に渡る現場普及活動や、運営支援を行っている関係団体の活動、産地の動向等、その時々々の旬な現場の情報をとりまとめたものです。

それぞれの地域毎の実情に応じて、特徴ある普及活動を展開していますので、是非、御一読頂き、本情報を通じて、普及活動に対する御理解を深めて頂くと共に、関係者の皆様にとって、今後の参考になれば幸いです。

また、本情報については、カラー版（PDF ファイル）を和歌山県ホームページ内（農林水産部経営支援課：アドレスは下記を御参照下さい。）に掲載しており、過去の情報も閲覧出来ますので、併せて御活用下さい。

和歌山県農林水産部経営支援課ホームページ 普及現地情報アドレス

<http://www.pref.wakayama.lg.jp/prefg/070900/hukyu/>

検索サイトより、以下のキーワードで御検索下さい。



< 目 次 >

頁数

I 海草振興局

1－2

1. 重点プロジェクト

【重要病害防除対策の普及による果樹間複合経営の安定化】

～イチジク株枯病調査を実施～

2. 女性農業者交流会を開催！！

II 那賀振興局

3－4

1. 中学校で郷土食体験を開催

2. 新規就農者経営研修会を開催

III 伊都振興局

5－7

1. くにぎ広場・農産物直売交流施設組合がはたごんぼ収穫祭を開催

2. 農業技術講習会（果樹専門コース）の開催

3. 農業技術講習会（花コース）2回目の開催

IV 有田振興局

8

1. クリスマスみかんツリーで消費拡大PR！

V 日高振興局

9－10

1. みなべ町4Hクラブが県外研修を実施しました

VI 西牟婁振興局

11

1. イチゴ「まりひめ」の栽培技術向上による高品質生産を目指して

～栽培圃場現地巡回及び意見交換会を実施～

VII 東牟婁振興局

12

1. 那智勝浦町苺生産組合が現地検討会を開催

2. 電気柵安全設置研修会を開催

VIII 農林大学校

13

1. 第1回「農林大祭」を開催

I 海草振興局

1. 重点プロジェクト

【重要病害防除対策の普及による果樹間複合経営の安定化】

～イチジク株枯病調査を実施～

和歌山市のイチジクは東山東地区を中心に約 11ha の栽培面積があり、県内では紀の川市に次ぐ第 2 位の産地である。イチジクは軽量で単価が高く安定していることから、栽培面積が拡大している。しかし、近年、株枯病が広がりつつあり問題となっている。

当振興局では毎年、J Aわかやま、県農、かき・もも研究所と共同で管内全園の全株について株枯病発生状況調査を実施しており、本年度は 11 月 8 日から 12 月 18 日にかけて 81 園地で調査を行った。また、同時に株枯病菌を保菌し媒介するアイノククイムシの発生状況についても調査を行った。

調査の結果、株枯病の発生は軽症を含め半数以上の園地で見られた。しかし、昨年度調査に比べ、発生園数は減少している。また、アイノククイムシの発生園地は全体の約 40% で、こちらも昨年度より減少している。今年度は、昨年度には見られなかったアイノククイムシ防除のための樹冠部への薬剤塗布跡がいくつかの園地で見られ、昨年度に実施したイチジク栽培研修会の効果が現れたものと思われた。今後も引き続き、株枯病では薬剤灌注処理、アイノククイムシでは樹冠部への薬剤塗布処理の徹底を推進することにより株枯病の発生拡大を抑えていきたい。

今年度は、今までの調査結果を踏まえ、和歌地方独自のイチジク株枯病防除対策マニュアルを作成し、配布する予定である。



樹冠部の状況を確認



株枯病の症状

2. 女性農業者交流会を開催！！

農業水産振興課は、12月19日に海南市下津町大崎の「げんき大崎館・かざまち」にて、管内の女性農業者を対象とした交流会を開催した。

交流会は、近隣に同世代者が少ない若手女性農業者（結婚を機に就農した方等）同士が日頃の不安や疑問の解消、将来の展望について語りながら交流するもので、今回が初めての開催となった。

参加者は6名で、それぞれ栽培している品目は異なっていたが、日頃の不安や将来の目標等について積極的に情報交換を行っており、「これまで女性農業者とのつながりがなかったのでよい機会だった。」、「また参加したい。」等の声が上がった。

当課は、今後も管内女性農業者のつながる場として、女性農業者を対象とした研修会、情報交換会を企画、開催していきたい。



交流会

Ⅱ 那賀振興局

1. 中学校で郷土食体験を開催

農業水産振興課は、12月14日～15日にかけて、岩出中学校2年生（7クラス241名）を対象に、郷土食料理体験を実施した。

この活動は、子供達が地元農産物と地域に伝わる食文化の理解を深めることを目的に行っており、「お雑煮」と岩出市特産のなばなを使った「ごまあえ」の調理実習を実施した。

当日は岩出市生活研究グループ協議会員が講師となり、福田清子会長ほか会員34名（2日間延べ）が生徒を指導した。材料の野菜（青味大根、金時人参、里芋、なばな）や餅、味噌についてはグループ員手作りの品を使用した。

福田会長からは、「なばなは岩出市の特産で、栄養価が高く風邪の予防に効果がある」との紹介があった。また、実習で調理した郷土食は全員が完食し、生徒からは、「手作りのお餅や味噌はおいしかった。家でも雑煮を作ってみたい」、「なばなは思っていたよりも食べやすく美味しかった」などの感想が聞かれた。

今後も生活研究グループや農家と連携しながら、食育活動を推進していく。



岩出市特産のなばなについて説明



調理実習風景



生徒達が作ったお雑煮となばなのごま和え

2. 新規就農者経営研修会を開催

就農 1～2 年目の新規就農者は、確定申告書の作成に不安を感じている人が多く、作成のための研修会を開催してほしいという要望がよくある。そのため、確定申告書の作成について理解することを目的として、12 月 22 日に経営研修会を開催し、12 名が参加した。

講師に紀の川市で税理士・行政書士事務所を開業する斎藤健一氏を招き、個々の理解度を確認しながら研修会を進めた。過去の研修では、一方的な講師の講演となったこともあり「眠たくなる」、「実践につなげにくい」などの意見が多かったため、今回は講演だけでなく、個別指導に重きを置いた研修会を行った。

始めに申告書に関する用語などの説明を行い、その後模擬決算書及び申告書の作成を個別に指導した。

2 時間という短い時間であったが、参加者全員が集中して研修を受けていた。研修会終了後には「勉強になった」、「今日の内容を忘れないうちに自分の申告書の作成に取り組みたい」などの意見が聞かれた。

来年度以降も新規就農者の要望に応じた経営研修会を実施したい。



熱心に取り組む新規就農者



斎藤氏による勉強会

Ⅲ 伊都振興局

1. くにぎ広場・農産物直売交流施設組合がはたごんぼ収穫祭を開催

12月6日、くにぎ広場・農産物直売交流施設組合（岡本進組合長、以下くにぎ広場）がはたごんぼ収穫祭を開催し、協力を得ている井関農機や橋本市、県の関係者等が参加した。

セレモニーの後、井関農機の協力の下、はたごんぼ用に調整した掘取り機を使って収穫を行った。はたごんぼは粘土質の赤土で栽培されるため、昔は人力で掘り取るのに多大な労力を必要としたが、掘取り機で土を軟らかくすることで大幅に軽労化が可能となる。とはいうものの、長く根を張っているはたごんぼを掘り取るには力が要り、参加者らは寒空にも関わらず汗をかきながら収穫した。

収穫後には、くにぎ広場加工部が作った昼食をとり、ゴボウ寿司やゴボウ茶等がふるまわれた。昼食後、次年のはたごんぼ栽培について、くにぎ広場、井関農機、農業水産振興課で打合せを行った。

当課は、今後もはたごんぼを通じて地域振興をバックアップしていく。



参加者全員で記念撮影



掘取り機でゴボウ周辺の土を軟化



ゴボウの掘り出し



昼食でふるまわれたゴボウ寿司

2. 農業技術講習会（果樹専門コース）の開催

12月5日及び19日、農業水産振興課では九度山町内の柿園において果樹専門コースを開催し、柿の剪定講習を実施、それぞれ10名、11名が受講した。

12月5日は、「刀根早生」の剪定実習で3つのグループに分かれて、普及指導員の指導のもとに行った。

ノコギリで徒長枝や内向枝等の残せない枝を切除し、続いて、剪定鋏で同年枝や下垂枝をはずすなど基本に忠実に剪定を進めていくものの、初めての受講者にはやや難しい様子であった。

12月19日は、「富有」の剪定講習を実施。普及指導員から「刀根早生」との切り方の違いや残す枝の特徴など説明した。

受講者からは、「樹勢に応じた剪定程度の加減が難しい」、「主枝や垂主枝、それぞれ役割を持たせた枝の切り方をしないといけないが、実際せん定してみると難しくて悩む」、「隣樹と枝が交差する場合、どちらを残すか迷う」等の感想が寄せられた。

専門コースでは3月上旬に接ぎ木研修を予定しており、より実践的な研修会となるように内容の充実に取り組んでいく。



「刀根早生」の剪定実習



「富有」の剪定講習

3. 農業技術講習会（花コース）2回目の開催

12月6日、農業水産振興課は振興局中会議室において農業技術講習会（花コース）を開催し、7名が受講した。

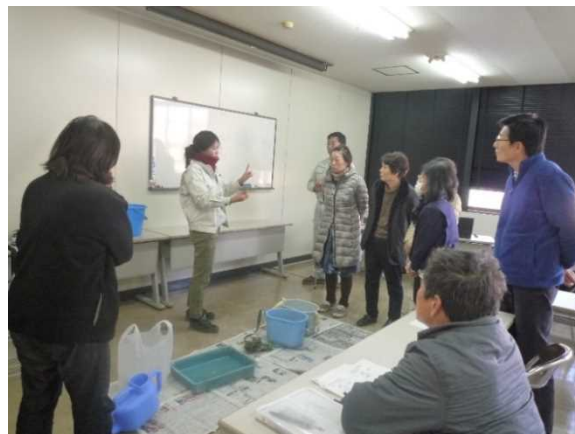
花コースは6月27日に1回目を実施しており、今回は2回目の講習会となる。

まず、普及指導員からアスター、コギク、ヒサカキの栽培管理について講義を行った後、コギクの挿し芽について実演した。受講者からは「専門的なことを含めて、栽培の知識が身についた。大変勉強になった。」、「実演がよかった」などの感想が寄せられた。

当課は、今後も花き栽培指導を通じて花き生産の振興に取り組む。



アスター等の栽培技術講義



挿し芽の実演

Ⅳ 有田振興局

1. クリスマスマかんツリーで消費拡大PR！

有田地域農業振興協議会（市町、農協、共済、振興局農業水産振興課で構成された団体）は、有田みかんの消費拡大を目的に、みかんの生果を飾り付けたクリスマスツリー（以下、みかんツリー）のPRを平成27年度より行っている。今年度は、12月4日～8日にかけて管内のJA関係、郵便局、金融機関、行政機関、直売所、JR各駅など約80か所にみかんツリーを配布した。

みかんツリーには取組のきっかけとなったクリスマスオレンジについての紹介と、ツリーの作り方を説明したPOPも付けて、クリスマス時期に最盛期となるみかんをPRした。

また、三越銀座店でのワークショップや観光イベントでみかんツリーを紹介しており、今後も関係機関と連携して、有田みかんの消費拡大に取り組んでいく。



ツリー配布



ワークショップでのPR

クリスマス みかんツリー の作り方

市販のクリスマスツリーに
モールでみかんを飾るだけ。
とっても簡単です！



モールの他、毛糸などでもOK！
Sサイズ以下の、小さいみかんの方が飾りやすいです。

百均のツリーでもかわいくできます。
もちろん大きなツリーでもOK！

（例）
ツリー108円＋モール108円＋みかん（4個）200円＝420円程度で作れます！！

飾っているうちにみかんは少しずつ傷んでいきます。どんどん食べて、新しいみかんと交換してね。

オリジナルのクリスマスみかんツリーを楽しんで下さい！！

有田地域農業振興協議会（事務局：和歌山県有田振興局農業水産振興課）

ツリーに付けたPOP

V 日高振興局

1. みなべ町4Hクラブが県外研修を実施しました

みなべ町4Hクラブ（みなべ梅郷クラブ（橋本悠希会長））は、12月11日～13日にかけて宮崎県ならびに熊本県で研修を行った。

2015年12月に「みなべ・田辺の梅システム」が世界農業遺産に登録されたことから、他地域の取り組みを勉強するため、今回クラブ員10名で宮崎県ならびに熊本県の世界農業遺産認定地域を訪れた。

宮崎県高千穂町では、高千穂郷・椎葉山地域活性化協議会事務局がある高千穂町役場の戸高玲子主任主事から、現地を案内いただきながら「高千穂郷・椎葉山の山間地農林業複合システム」の概要と取り組み内容を説明していただいた。

「高千穂郷・椎葉山の山間地農林業複合システム」は、「みなべ・田辺の梅システム」と同じ2015年に登録され、取り組みは始まったばかりとのことであった。棚田と総延長500kmにも及ぶ水路、椎茸栽培やお茶栽培、和牛生産等の農畜産業、様々な樹木をパッチワーク状に植栽している林業等、山間地であることから組み入れられた農業と林業が循環するシステムと説明を受けた。

熊本県阿蘇市では、阿蘇地域世界農業遺産推進協議会がある阿蘇地域振興局農業普及・振興課の山田隆課長補佐、石野慎祐技師、地元農家で牧野組合長でもある市原啓吉氏の3名からお話を伺った。「阿蘇の草原の維持と持続的農業」は、2013年に認定を受けている。阿蘇は他に類を見ない規模の草原を「野焼き・放牧・採草」といった管理で維持し、その草原に関連する農畜産業、生物多様性、景観、文化が保全されていると説明を受けた。

両地域とも、世界農業遺産として認定を受けた地域の農業システムの保全や地域内外への周知が課題とのことで、地域資源保全のためのボランティア募集や観光コースの設定、地域の子供への体験学習・次世代の人材育成など、様々な取り組みが行われていた。みなべ・田辺地域も同じような課題を抱えており、クラブ員は、取り組みの具体的内容や地域の農林業生産者が担っている役割について熱心に質問を行った。

今回の県外研修は、「梅システム」という農業遺産について、自分たちがどのような保全活動を行えばよいのかを考える機会を得る有意義な研修となった。



宮崎県での研修（高千穂郷・椎葉山の山間地農林業複合システム）



熊本県での研修（阿蘇の草原の維持と持続的農業）

Ⅵ 西牟婁振興局

1. イチゴ「まりひめ」の栽培技術向上による高品質生産を目指して ～栽培圃場現地巡回及び意見交換会を実施～

12月13日に稲成いちご研究会（会長：宮本誠士）では、イチゴ「まりひめ」の栽培技術向上による高品質生産を図るため、研究会会員7名、JA紀南職員2名、普及指導員1名により、各会員の圃場巡回や意見交換会を行った。

JA職員からは、パック詰め方法や規格等について再度意識統一を図るため、出荷要領等の説明があった。同時に、ブランド力向上を図るため、大玉果にこだわった「DX用パック」や、大玉果に加えて完熟で糖度にもこだわった「まりひめプレミアム」の規格や栽培方法についても意見交換した。

その後、会員の圃場を巡回し、生育状況（病害虫の発生等）を確認した。「摘果による大玉果生産技術について」、「新品種：紀の香の栽培方法について」の質問が出る等、参加者相互の有意義な意見交換の場にもなった。

また、今年度は炭疽病により苗が不足した圃場もあったため、普及指導員から秋ランナーを利用した親株育成について紹介した。同時に、これからの栽培ポイント（大玉果生産や草勢維持・アザミウマ類・ハダニ類・うどんこ病の防除法）についても説明した。

今回の現地巡回や意見交換会により会員の情報共有や高品質生産への意識付けが図られた。



圃場巡回での意見交換



第1果房の着果発生状況

Ⅶ 東牟婁振興局

1. 那智勝浦町苺生産組合が現地検討会を開催

那智勝浦町苺生産組合（杉浦仁組合長）は、12月12日に、各組合員の圃場を巡回し生育、管理、病害虫の発生状況等についての検討会を実施し、組合員11名、JA担当者2名、農業水産振興課職員2名が出席した。

台風21号の被害で約7割の圃場が冠水し、11月中には異常花の発生も見られた。生育は例年に比べて遅延しており、12月10日から共同出荷は始まっているものの、本格的な出荷は年明け以降と見込まれる。

巡回結果を基に、普及指導員から組合員各々に対して当面の管理、摘花による中休みの防止対策や秋ランナーを活用した親株育成について指導した。



現地検討会



摘花状況

2. 電気柵安全設置研修会を開催

農業水産振興課は、12月19日に、電気柵安全設置研修会をJAみくまの熊野川営農センターにおいて開催し、新宮市熊野川町の農業者等10名が参加した。

講師にはタイガー株式会社の米川智志エリアマネージャーを招き、イノシシやシカ、サル等の生態や被害防止方法等について研修した。

また、実演ではサル用電気柵の設置方法や安全対策等を学んだ。

参加者からは、年々鳥獣被害が多くなっているの、電気柵を効果的に設置し農作物を守りたい等といった意見があった。



研修会



サル用電気柵実演

VIII 農林大学校

1. 第1回「農林大祭」を開催

和歌山県農林大学校となって第1回目となる「農林大祭」を、12月3日に開催した。

この祭りは、「招福！農林業を担う若者の祭典」をテーマに、実りへの感謝と農産物販売を通じて地域の皆さんとの交流を深めることを目的に行っている。

催しの一つとして行われた、学生達が丹精込めて育ててきた農産物の販売では、「果樹」「野菜」「花き」ともにその出来は上々で、開会式前からお客様の列が出来るほどであった。

また、日頃の学習内容についてのパネル展示やほ場見学も実施し、学生が案内した。その他、紀州材でお箸を作る体験や、お子様が楽しめる「ビンゴゲーム大会」、軽音学同好会が毎日遅くまで練習した楽曲を披露した。

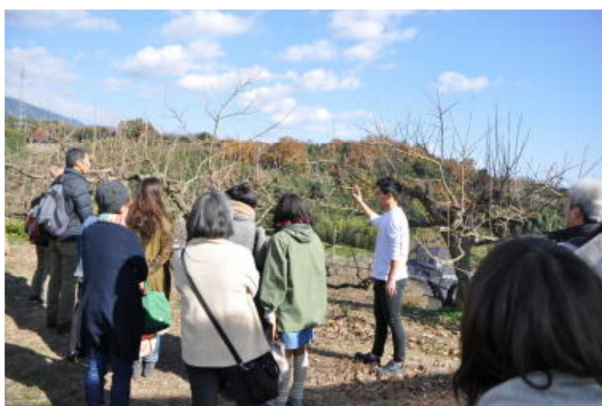
最後には、大江校長や磯部学生自治会長らによる「もちまき」が行われ、盛会のうちに閉会することが出来た。



磯部自治会長の挨拶



花き類の販売



ほ場見学で学生が案内



もちまき

普及活動現地情報 発行・編集

和歌山県農林水産部経営支援課	TEL073-441-2931	FAX073-424-0470
海草振興局農林水産振興部農業水産振興課	TEL073-441-3377	FAX073-441-3476
那賀振興局農林水産振興部農業水産振興課	TEL0736-61-0025	FAX0736-61-1514
伊都振興局農林水産振興部農業水産振興課	TEL0736-33-4930	FAX0736-33-4931
有田振興局農林水産振興部農業水産振興課	TEL0737-64-1273	FAX0736-64-1217
日高振興局農林水産振興部農業水産振興課	TEL0738-24-2930	FAX0738-24-2901
西牟婁振興局農林水産振興部農業水産振興課	TEL0739-26-7941	FAX0739-26-7945
東牟婁振興局農林水産振興部農業水産振興課	TEL0735-21-9632	FAX0735-21-9642
和歌山県農林大学校	TEL0736-22-2203	FAX0736-22-7402
和歌山県農林大学校就農支援センター	TEL0738-23-3488	FAX0738-23-3489